



なんぶ

議会だより

第84号

令和7年6月議会
発行/令和7年8月

さあ 棟上だ！

しごと☆未来体験



- 6月議会審議結果／議会活動日誌 …2～4
- 議長挨拶／一般質問ダイジェスト ……5
- 一般質問 ……6～13

- 行政調査 ……14
- しごと☆未来体験学習(表紙の説明) ……15
- 町議会広報探検隊 ……16

陳情第2号 国産食糧の増産、食料自給率の向上、家族農業支援強化を求める陳情

賛成少数で不採択



反対

南部町では法人経営者を募っていく
しかない。高齢化がすすんでいるし、
個人経営、家族経営では困難である。

賛成

世界の農業生産の80%は家族農業経
営で行われていて、これを支援しよ
うと言うものである。

陳情第3号 地方財政の充実・強化を求める陳情

全会一致で採択

陳情第4号 裏金問題の徹底解明とパーティー券購入を
含む企業・団体献金の禁止を求める陳情

賛成少数で不採択



反対

南部町議会ではすでに「裏金問題に
よる腐敗政治を一掃することを求め
る意見書」を全会一致で国へ提出している。

賛成

裏金問題は現在、完全に解決してい
ない。特に、東京都議会議員選挙で
は物価高騰対策と裏金問題が重点となっている。

議案第38号 統合保育所整備事業造成工事に関する
変更契約の締結について

賛成多数で可決



反対

今回の議案は契約変更である
が、住民の声の中には統合保
育所整備事業の見直しの声がある。

賛成

契約変更になったのは盛土の認定許可が5
日後におりたからであり、むしろ早く追加
議案にできたと考えて賛成するべき。

発議案第5号 消費税一律5%へ減税を求める意見書

賛成少数で不採択



反対

税の再分配を考えるなら減税より
も給付で対応するべき。

賛成

給付金では一時的な効果しかなく、長
期的に見た場合、消費税減税が良い。

発議案第6号 米の価格高騰対策・米不足解消のため米増産
へ政策転換を求める意見書

賛成多数で採択



反対

米の買取価格は昨年に比べて
JAで60キロ2万1000円に
なっている。この陳情を出す必要はない。

賛成

日本の食料自給率は38%である。日本の主食
である米の自給率くらいは100%であって良
い。米価安定のためには所得補償、価格保証が必要である。

議員名（議席番号順）	秋田	井原	埜田	加藤	荊尾	滝山	米澤	長束	白川	三嶋	仲田	板井	真壁
陳情2号	×	○	×	○	×	○	×	×	○	○	×	×	○
陳情4号	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○
発議案5号	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○
議案38号	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×
発議案6号	×	○	×	○	○	○	×	○	○	○	×	×	○

6月
定例議会

令和7年6月定例議会が6日（金）から18日（水）まで開催された。
令和7年度の一般会計・特別会計の補正予算・条例の改正など計6議案と陳情
4件、追加議案1件、議員による発議案4件が審議された。

令和7年度

一般会計の補正予算（賛成10 反対3）可決

特別会計・条例一部改正（全員一致）可決

- 一般会計の補正は、歳入歳出7596万円を追加し、総額93億2096万円とする。
- 国民健康保険特別会計の補正は歳入歳出40万7千円追加し総額14億600万7千円とする。
- 後期高齢者医療特別会計の補正は、歳入歳出30万円追加し2億2520万円とする。

主な補正

- ・定額減税補足給付金事業（不足額給付）・・・・・・・・・・5083万2千円
（昨年、恩恵を受けられなかった低所得者）
- ・県営ライフル射撃場流入土砂撤去・・・・・・・・・・107万6千円
- ・地域おこし協力隊活動支援事業・・・・・・・・・・388万8千円
（6名2か月間インターンで集落作業）
- ・農地耕作条件改善事業（五色ヶ丘果樹）・・・・・・・・・・796万1千円
（資材高騰に伴う予算不足で県・町補助増）
- ・自主防災組織運営事業・・・・・・・・・・200万円
（地域自主防災組織コミュニティ助成）
- ・災害対策事業（Jアラート）・・・・・・・・・・728万円
（小型受信機及び自動起動装置の更新）

- 南部町税条例の一部改正（たばこ税、バイク125cc以下区分）
- 南部町議会の個人情報保護に関する条例の一部改正
- 南部町特別職の非常勤の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正（選挙管理委員会の報酬改定）

一般会計補正予算

賛成多数で可決



反対

今回、700を超える保育所統合の見直しを
求める署名を提出した。補正予算を組むの
であれば町民の声を汲んだものであるべきであり、保育
所統合の見直しを含んだ補正予算であるべきだ。

賛成

今回の補正予算の多くは定額
減税補足給付金事業である。
該当する町民になるべく早く届けたい。

議員名（議席番号順）	秋田	井原	埜田	加藤	荊尾	滝山	米澤	長束	白川	三嶋	仲田	板井	真壁
令和7年度一般会計補正予算	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×

一般質問

令和7年6月議会を終えて

南部町議会議長 景山 浩

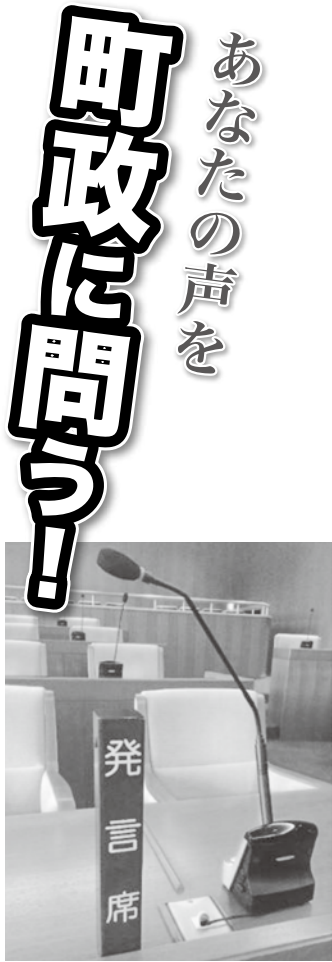
6月定例議会が6月6日から18日の13日間にわたり開催されました。一般会計補正予算や条例改正など執行部提案の全議案を原案通り可決しました。

議会初日に町長から当町の人口が1万人を下回ったとの報告がありました。町や住民生活を支える人や物、財源が細っていく中、従来通りの「住民福祉の増進」以上に、現在の住民福祉レベルをどのようにして維持していくかの政策議論がより重要となつてまいります。今年度初めからご案内いたしております全集落を対象とした「住民の声をきく会」は、議会終了後に各区長様方との日程調整の段階に入りました。どうぞ多くの皆様にご参加いただき、貴重なご意見を頂戴いたしますようお願い申し上げます。

令和7年6月定例議会一般質問ダイジェスト

	議員名	発言時間(分)	質問事項	
1	埴田 光雄	30	1	SNSの活用
			2	住宅耐震事業の変更点は
2	白川 立真	30	1	「なぜ生きるのか」を学びの柱に
3	秋田佐紀子	30	1	带状疱疹ワクチン接種に対する助成
4	仲田 司朗	30	1	公民館長を専任に
			2	2050年ゼロカーボン実現は
5	真壁 容子	30	1	保育園建設の見直しを求める
			2	高齢者の支援ハウスを
6	荊尾 芳之	30	1	自然災害対策は
			2	城山公園・法勝寺川河川敷の維持管理
7	加藤 学	30	1	定期健診に前立腺がん検診を
			2	物価高騰対策で水道料金引き下げ
8	井原 啓明	30	1	地域計画(人・農地プラン)
			2	統合保育所予定地の防災上の懸念
9	板井 隆	30	1	住民コミュニティで地域づくりを
			2	統合保育所の建設

※「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。



【質問の通告】
一般質問は、議案と関係なく行財政全般にわたる議員主導による政策論議で、通告制で行っている。
【一般質問の時間】
定例議会において行われ、南部町は議員からの質問時間は30分と定めている。
町民皆様の声を町政に問います。

6月定例議会報告

陳情第5号 鳥取県西部地域への風力発電施設の設置に反対の決議を求める陳情

全員一致で継続審査と決定

理由 南部町以外の自治体も含まれる問題なのに南部町だけで決めて良いのか。環境評価の結論が出るのを待つべきではないか。各議員の勉強が必要であると考え継続審査となった。

臨時議会 5月26日臨時議会が開催されました。3の議案と1の発議案が審議され全て、承認、可決されました。

- 議案第29号 専決処分の承認を求めることについて(南部町税条例の一部改正について)
- 議案第30号 専決処分の承認を求めることについて(南部町国民健康保険税条例の一部改正について)
- 議案第31号 統合保育所整備事業造成工事に関する契約の締結について
- 発議案第3号 南部町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について

委員会 統合保育所建設調査特別委員会

6月13日(金)18日(水)統合保育所建設調査特別委員会が開催された。
13日は5月28日富有まんてんホール、6月2日キナルなんぶで行われた住民説明会で、住民からどのような声があったか説明を求めた。住民の声の説明を受け委員から以下の意見が出た。
・住民説明会で法人を助けるとの町長の発言があったが、これはどういう意味か?
・民間が建てるなら民間がお金を出せば良い。当初から町が民間のお金を全部負担する考えだったのか?

議会活動日誌

4月			5月			6月		
日	曜日	会議・行事	日	曜日	会議・行事	日	曜日	会議・行事
2	水	広報常任委員会②	8	木	交通安全協会米子地区協会南部町支部委員会(総会)	5	木	日本海政経懇話会 6月例会
9	月	広報常任委員会③	14	水	中国横断新幹線(伯備新幹線)整備推進会議総会	6	金	定例議会 議会運営委員会
10	木	町内小学校入学式	15	木	広報常任委員会⑥	9	月	定例議会 一般質問
16	水	広報常任委員会④	19	月	町村議会議長会監査会	10	火	定例議会 一般質問
21	月	議会改革調査特別委員会③	20	火	町村議会議長会役員会	11	水	定例議会 一般質問
23~24	水~木	地方行政調査	21	水	議会運営委員会	12	木	常任委員会
25	金	広報常任委員会⑤	23	金	南部箕蚊屋広域連合議会 臨時会	13	金	定例議会 常任委員会
			24	土	統合保育所建設調査特別委員会④	16	月	議会改革調査特別委員会⑤
					議会全員協議会	17	火	統合保育所建設調査特別委員会⑤
					中国横断自動車道岡山米子線(蒜山IC~境港間)整備促進期成同盟会総会	18	水	鳥取県西部森林組合通常総代会
					日野川水系改修促進期成同盟会総会	27	金	定例議会 常任委員会
					なんぶSANチャンネル通常総会			広報常任委員会①
					部落解放同盟並びに同和事業推進協議会 定期大会			定例議会 本会議
								議会改革調査特別委員会⑥



立真 議員

白川 中学生には職場体験を通して、その仕事の背景にはど

教育長 保・小・中の10年間で一貫したカリキュラムで学ぶ「まち未来科」では、地域の方々とふれ合いながら将来を見据えて様々なことを学んでいる。

白川 南部町教育の柱に、「いきる力」を育むとあるが、どのような学びか。

教育長 生きる力の要素として、知育、体力、徳育などで構成されると考えている。



職場体験の作業風景

のような事があるのか。また、「生きる」とはどのようなことなのか幅広く学んでほしい。

教育長 地域の方々の参画を多く取り入れ、「将来像を描きこんな大人になりたい」と思えるような経験を教育の中に編み込んでいきたい。また、地域移行する部活動の中で、障がい者スポーツを通して困難を克服し「生きる」ことにチャレンジされているアスリートのお話を聞ける機会をつくっていきたい。

Q「なぜ生きるのか」を学びの柱に Aまち未来科の中で深めていきたい



動画が見られます

町長 帯状疱疹は、過去に水ぼうそうにかかったときに、体の中に潜伏した水痘・帯状疱疹ウイルスが再活性化することによって、神経に沿って帯状に、時に痛みを伴う水泡が出現する病気だ。合併症の一つに帯状疱疹後神経痛がある。

秋田 今年度から、帯状疱疹ワクチン接種が65歳から5歳刻みで実施となった。帯状疱疹とはどんな疾病なのか、ワクチンが定期接種化となった背景について問う。



秋田 佐紀子 議員

町長 近隣の市町村と足並みをそろえたつもりだ。臨時交付金を使うべきかは十分な議論が必要だろうと思っている。

秋田 他の自治体では、助成制度を導入しているところがある。令和6年度に地方創成臨時交付金を助成に活用している自治体もあるが、本町でも助成できないか問う。

Q 帯状疱疹ワクチン接種に対する助成 A 近隣の市町村と足並みをそろえる



動画が見られます

高齢者の帯状疱疹予防接種
予約受付中

予防接種開始 令和7年 4月 1日～
接種日時 毎週火・木曜日 14:00～16:00 内科外来

【65歳以上の対象者（市町村からの接種券あり）】
接種料金（定期接種）※高齢者の場合
11,000円（接種券あり）、4,400円（非接種券あり）、無料（生活保護世帯）

予約受付は、お電話（66-2211）、または1階総合受付までお越しください
※電話予約受付時間 14～17時 南部町国民健康保険西伯病院

中高年に多い帯状疱疹

Q SNSの活用 A ホームページと連動



動画が見られます



光雄 議員

埴田 運用規約等の作成が遅れた理由について問う。

町長 各課のSNSの活用実績を確認し、アカウントの廃止や集約などに時間がかかったため遅れた。

埴田 映像などを撮る機材は各担当者の機材を使用するのか。

町長 各課が取材などを行うのではなく、載せたい情報などをデジタル推進課に依頼していただき、デジタル推進課で整備・掲載をしている。ショート動画の編集などを行う場合はデジタル推進



南部町のホームページ

埴田 今後のSNSの活用はどうするのか。

町長 本町の情報をSNSでタイムリーに届けて、ホームページと連動した運営が出来るように工夫していく。

課の機材を貸し出している。

埴田 昨年度までの事業と何が違うのか。

町長 家を守る耐震改修から人を守る耐震補強へかじを切り、命を守る空間を作るための事業を強化し本年は無料耐震診断を取り入れた。

埴田 無料耐震診断の事業の委託先である「じゅうmado米子」に依頼した後の耐震工事は地元の業者は施工できるのか。

町長 「じゅうmado米子」と連携する業者が施工すると思うが、今後は商工会等とも連携しながら地元の業者にも関わっていきけるように協議をしていく。

● お問合せ先

○特定非営利活動法人 なんぶ里山デザイン機構
住所：南部町浅井938番地 南部町総合福祉センターいこい荘
TEL：0859-21-1595

○南部町役場 未来を創る課
住所：南部町法勝寺377番地
TEL：0859-66-3113

● 住まいに関する事業・補助金等メニュー

- ➡ 南部町震災に強いまちづくり促進事業について
- ➡ 南部町家庭用発電設備等導入推進補助金について
- ➡ 宅配ボックス購入設置助成金
- ➡ 南部町三世帯同居世帯等支援事業について
- ➡ 定住促進奨励金制度
南部町に新たに土地および住宅を取得された方を対象に定住促

住まいに関する事業

Q 住宅耐震事業の変更点は A 家を守るから人を守る耐震補強へ

Q 公民館長を専任に A 適任者を今探している



動画が見られます

仲田 公民館活動での人材育成の取り組みについて。

教育長 公民館では、6年度から南部町の歴史、文化、自然について学び、ふるさとに関心のある人材を育成する目的で「なんぶなんでも探偵団」という公民館教室を開催している。故郷に愛着をもって、地域に貢献できる力を育む事業として期待している。

教育長 人間的には公民館長を個別に充てるつもりではないが、適任者を今探している状況である。

仲田 今後の青年団活動の充実策はどうなっているのか。

教育長 今後は、南部町にはどのような地域課題があり、どのような解決策で立ち向かっていくか、青年団自身が考え、自主的、自発的な活動につなげていきたいと考えている。

仲田 公民館長を教育長が兼務されているが、専門的な指導体制が必要ではないか。



仲田 司朗 議員



Q 保育園建設の見直しを求める A 7月には建設工事を発注したい



動画が見られます



まかべ ようこ 議員

真壁 町が建てた公共施設等管理計画では、今の維持管理・更新に年約9億円の費用がかかる

とされているが、説明資料の保育園建設費の借金返済計画にはこれを反映させているのか。

町長 満額の9億円を見込んだ推計にはしていない。この見直しは今後、出していかなければならないと思っている。

真壁 予算規模と財政に責任持っている説明だと思えない。建設の見直しを求める。

民間移管の理由に保育の質の充

実等3点あげているが、これは運営の問題であり、すでに伯耆の国に指定管理をし民営化されている。今やろうとしているのは民営化しているところに建物を無償で貸与し、民営にすることだ。なぜ民営にしないといけないのか。

町長 指定管理の限界と何かが。指定管理の限界とは何か。

町長 今まで全体で出していた指定管理費が、国、県、町がいくら出すと明確になる。そのうえで何かをするのにこれだけのお金が必要だと議会の中で議論が出来るようになることだ。

Q 2050年ゼロカーボン実現は A 地域全体で取り組みを拡大

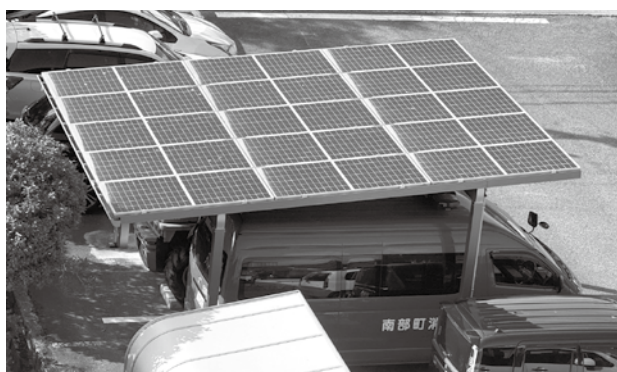
仲田 地域脱炭素実現に向けた再エネの取り組み状況はどうなっているのか。

町長 令和4年度に再エネの最大限導入計画を策定し、公共施設への太陽光発電設備の導入、町内防犯灯のLED化、家庭用発電設備等の補助金の交付を行っている。

6年度には、環境省の重点対策加速化事業の補助採択を受け家庭用設備の拡充、事業用発電設備の補助を新設している。

仲田 令和7年度からの新規事業は。

町長 今年度からの新規事業、補助制度の拡充はないが、創設したソーラーカーポート、EV自動車への補助の利用促進と事業所用発電設備導入事業を進めることで、地域全体で脱炭素へ向けた取り組みを拡大していきたい。



ソーラーカーポート

仲田 2050年の温室効果ガス排出量の削減目標と達成率は。

町長 本町の2013年の総排出量は、環境省の自治体排出カルテによると総排出量8万トンCO2を削減目標とする削減目標である。達成率は、最新数値が8万9000トンCO2で9000トン増加している。

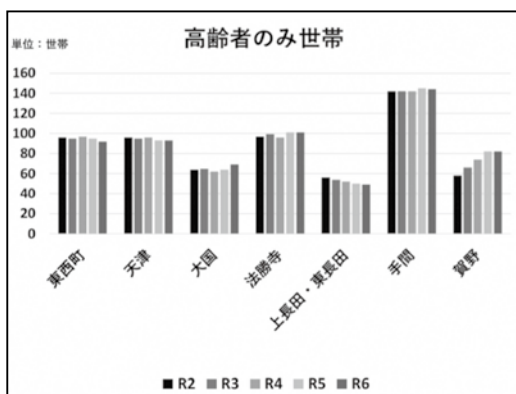
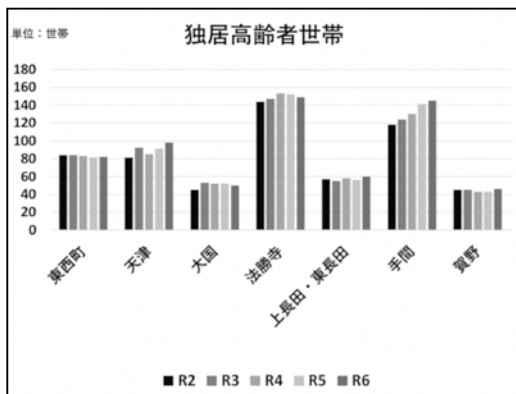
Q 高齢者の支援ハウスを A 町外の施設で対応できている

真壁 それは指定管理の中でもできたことだ。これまでは監査もしてこなかった。町民は町と伯耆の国の関係も明確にしてほしいと思っている。町立保育園として維持すべきだ。

町長 住民の理解がなければ行政は進まない。町民に保育園の運営や伯耆の国の問題等しっかりと対峙していきたい。

真壁 高齢者のケア住宅等の必要性をどう考えているか。高齢者世帯の把握を求める。ケアが必要な人が地域で暮らせるよう高齢者の支援ハウス等を作りたい。

町長 現在、町にはないので利用される方は町外の施設を利用されている。現状で対応できていると考えている。



説明資料1
独居高齢者世帯数、高齢者のみの世帯数

Q 自然災害対策は

A 自然災害リスクを判断



動画が見られます



南部町 議員 芳之 議員

町長 近年、能登半島地震、能登の大洪水災害が発生し、特に今の季節は、大雨による洪水被害が多発する時期であり、南部町の自然災害対策について問う。

町長 南部町で予想される自然災害は、地震、豪雨、豪雪、火災などが考えられる。本町では、防災ハザードマップを作成、更新しながら、住民の暮らしに潜む自然災害リスクを判断することや近くの避難場所に安全に避難すること、町・地域振興区・集落単位で行う防災訓練、防災説明会等で防災意識の高揚に努めることが重要だ。



消火の様子

町長 岩手県大船渡市や岡山市、今治市で3月に大規模山林火災が発生した。原因となる野焼の禁止など火の取り扱いについて問う。

町長 大船渡市の山林火災は平成以降最大の山林火災となった。町内でも野焼が原因で今年に2件の火災が発生している。農業のためやむを得ないものは例外として認められている。ただし、必要な届出や周辺の状況を確認し、安全を確保し完全に火が消えるまで責任を持つことだ。

Q 城山公園・法勝寺川河川敷の維持管理

A 至急、方向性を検討する

いる。今後どのように維持管理を進めるか検討する。

町長 城山公園に観光客を呼ぶにはどうするか。また、法勝寺川の河川敷スポーツ広場については、これまでの経緯と今後の対応を問う。



法勝寺城山公園



法勝寺川河川敷スポーツ広場

町長 法勝寺城址は、毛利氏ゆかりの山城で、春には桜の見どころであり、地域ボランティアに支えられて除草作業等を行って

一般質問

Q 定期健診に前立腺がん検診を A 今後の国の動向を注視して



南部町 議員 学 議員

町長 高齢者で定期健診の中に前立腺がん検診がなく自腹で検診を受けた人がおられる。その結果、前立腺がんだと判明した。

もう一度、定期健診の中に前立腺がん検診を入れて欲しい。

町長 厚生労働省が示しているがん予防重点教育及びがん検診実施のための検診の指針に基づき肺がん、胃がん、大腸がん、子宮がんの検診は行っている。前立腺がん検診は検診を行えば死亡率が下がるどうか判断をする証拠が不十分である。



なっていて、南部町では定期健診の中に前立腺がん検診を行っていない。定期健診として行うかどうかは今後の国の動向を注視したい。

町長 前立腺がん検診は5年区切りで行えば良いのではないか。

町長 それは否定するものではない。



動画が見られます

Q 物価高騰対策で水道料金引き下げ A 水道基本料金の減免は困難

町長 南部町の物価高騰対策で、公共料金の引き下げとして、水道料金の基本料金の減免を求める。水道会計は大変厳しい状況になっている。

町長 基本料金を減免した場合、管路や施設の維持修繕に重大な影響が出る。

老朽管の更新事業は今後も継続的に実施して行く必要があり、これに伴う費用の増加も見込まれることから水道基本料金の減免は困難である。

町長 現在、国では物価高騰対策を検討している。

消費税減税や給付金の話が上がっているが、どちらも南部町としては出来ないことである。南部町として出来る物価高騰対策として、もう一度、水道料金の減免を考えることは出来ないか。



上野水源（建屋）

町長 過去3回水道基本料金の減免を行ってきた。新型コロナウイルス対策で国からの支援金があったこと、当時はたすカードが無かったので現金を配るよりも水道料金の減免を行った。

現時点では水道基本料金だけに絞った対策は決して良いやりかたではない。



南さいはく運動会

町長 三者の役割や連携の整理が必要である。

板井 少子高齢化による集落機能の低下に対する町と各地域振興協議会の役割を問う。

町長 集落機能低下による課題解決に向け協議会、集落、町三者の役割や連携の整理が必要である。



板井 隆 議員

Q 住民コミュニティで地域づくりを A 地域に必要な対応や施策を検討する



動画が見られます



南さいはく敬老会

町長 協議会の活動には集落からの協力、役目は必要不可欠である。少子高齢化の影響もあり、双方の活動に限界も生じていると思う。町の呼びかけで、協議会、地域の在り方検討会において地域住民と一緒に、この問題解決に考えていきたい。

板井 各振興協議会における集落との関係深化に必要な町の支援策を問う。

町長 協議会の活動には集落からの協力、役目は必要不可欠である。少子高齢化の影響もあり、双方の活動に限界も生じていると思う。町の呼びかけで、協議会、地域の在り方検討会において地域住民と一緒に、この問題解決に考えていきたい。



井原 啓明 議員

Q 地域計画（人・農地プラン） A 計画を土台に担い手確保、農地維持



動画が見られます



南部町内農地

井原 策定された地域計画及び目標地図をどう評価し、この計画をどのように活用していくのか問う。

町長 大規模、中小規模、自給農家の状況確認や、農地保全、鳥獣被害体制等諸課題について地域の皆様と共有し、10年後を見据えた将来像を形にできた。

機械導入、施設建設、農地集積に対する補助事業の活用、計画を土台にした国、県の関連事業について地域で協議、活用していく。

井原 生産コストの削減のため担い手への農地の集約化や大区画化が必要と思うが町の見解は。地域計画を基にした今後の南部町農業政策の展開を問う。

町長 担い手が十分でない地域が多い中で農業の効率化、省力化は避けておれない課題である。担い手への農地の集約化、大区画化、スマート農業について、目指す姿の共有や関連する諸課題への対応を地域計画の見直しを行いながら事業推進していく。

井原 福里上池のハザードマップは地震による崩壊も想定されているか問う。

町長 ため池ハザードマップは満水状態のため池が決壊した場合に想定される浸水の範囲や深さ、近隣の避難場所をまとめた地図であり、地震など特定の自然災害を想定したものでない。

井原 統合保育所からの避難経路が浸水している場合について問う。

町長 現在南部町では23か所の施設を指定避難所としており、統合保育所も指定する予定。保育所は浸水することの無い安全な場所だが、災害時に大切なのは早期に安全な場所へ避難すること、気象情報など非難に関わる情報発信に努める。

井原 ため池管理システム導入と福里上池の安全評価について。

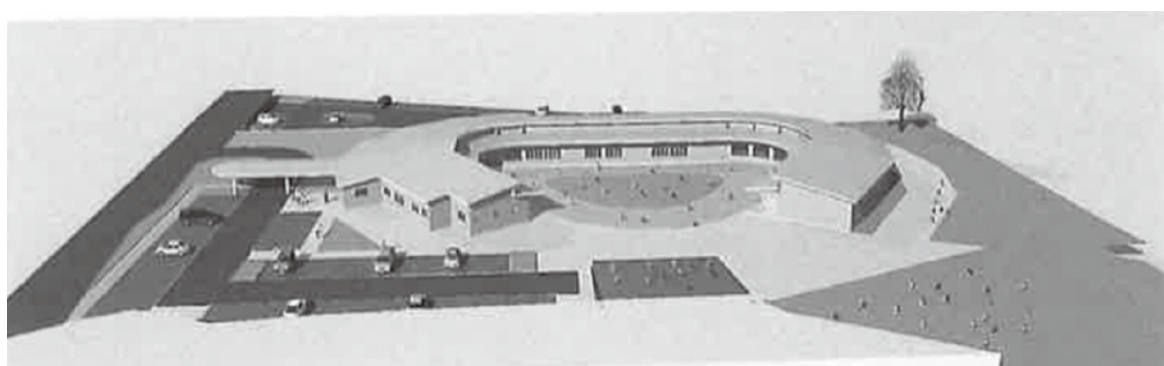
Q 統合保育所予定地の防災上の懸念 A 慎重を期した対応をしていきたい



さくら保育園

町長 鳥取県ため池監視システム導入事業を実施、南部町も令和8年度設置に向け、対象ため池を選定中。

貯水量の削減などため池の管理者にも協力頂き安全性を高めていく。自然災害に対し絶対の安全はないので、慎重を期した対応をしていきたい。



新設統合保育園所〈南側〉

Q 統合保育所の建設 A 来年秋の開園を目指す

板井 町民、園児保護者の皆さんの期待であった統合保育所の造成、建設工事がいよいよ始まる。これまでの経過、今後の造成、建築の進捗と町民への周知について問う。

町長 子ども子育て会議において、老朽化が目立つ3園のうち、つくし、さくら保育園の統合の意見をいただき、現在に至っている。運営及び方針は公私連携保育所として、町が運営に関わっていきます。

この場所は地震、土砂災害、風水害にも全て対応できる住民の避難場所として対応できる。すでに土地造成に着手しており、建設工事を発注し、令和8年秋の開園を目指します。また、進捗状況に合わせ、適切な時期に町民への説明会の実施や広報も行つ。

しごと☆未来体験（職場体験学習）の様子

～建築の仕事体験（表紙の説明）～

表紙で使用した写真は法勝寺中学校2年生が地元企業で建築の仕事を経験しました。

「墨付け」から「刻み」、そして「棟上げ」までの一連の作業を経験してもらうために大工さんにも協力していただき作業した4日間の様子です。



① のこぎりで加工



② ノミで穴あけ作業



③ スコップで基礎工事



④ 柱を立てる



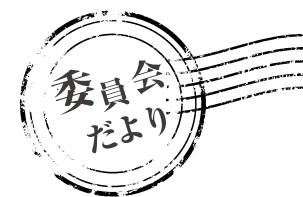
⑤ 横架材取り付け



⑥ 完成！

生徒たちの声

- ・仕事は大変だがやりがいを感じた。
- ・使った事がない道具が使えた。
- ・気温も高く重労働だったが、進むにつれて達成感と喜びを感じた。
- ・なかなか体験できないことで、すごく学びになった。



行政調査

期間：4月23日(木)・24日(金)

地方行政調査特別委員会より

南部町議会は、神奈川県大磯町、開成町への行政調査を行いました。

これまで議会選挙において2期続けて無投票に終わり、議員のなり手不足が深刻化している現状から議会改革の取り組みが喫緊の課題となっている。

また、魅力ある町づくりを実現するため、温暖化防止実行計画に基づき、環境省から地域脱炭素移行・再エネ推進交付金が採択され、再生可能エネルギーの拡充に取り組んでいる。

以上の現状を鑑み先進地調査を行い、今後の町政へ資することを目的としています。

神奈川県

大磯町

人口 30,685人

議員定数 14人（内、女性議員7人）

<議会改革の取り組みについて>

大磯町は明治時代に伊藤博文ほか政財界人の邸宅・別荘等、歴史的建造物が多く存在する。しかしバブル期(1990年代)に大規模開発計画が多発した。建造物や自然林の開発反対の町民運動から女性が積極的に参画し、続々と女性議員が誕生し現在に至っている。

大磯町議会の特色は一般質問においては、毎回、議長を除く全員が質問を行い執行部との議論を深めていた。

議会改革は一年間の検討事項を共有し、年次的に検証と今後の課題の取り組みを行い、実証されていた。



神奈川県

開成町

人口 18,699人（東日本最小の町）

議員定数 12人



ベッドタウンとして人口増加を続けている。

開成町議会は1年間を会期とする「通年の会期制」を行っていた。また、傍聴者の減少対策として「夜間議会」や「日曜議会」を開催し、成果をあげていた。

議会のICT化を推進し、動画による議会報告の配信、併せて、対面での意見交換会を開催していた。更に夏季における子どもたちへ、議場を自習室として一般開放を実施していた。

「ゼロカーボンシティ」を表明し、「住民向け」「中小企業向け」の助成を実施し、脱炭素社会に向けた施策を実行していた。

鳥取県営 賀祥発電所

小さくても強力な電気を生み出す
年間目標電力量 140万kwh
(一般家庭390戸分に相当)



今、全国的に再生可能エネルギーの利用促進が進んでいます。その理由の一つとして、東日本大震災が影響していると言われています。地震による被害がそれほど大きくない地域にわたってエネルギーの供給が止まり、都市部では計画停電などが実施されました。

このため、わが国の大規模なエネルギー供給網の脆弱性が示され、それぞれの地域で自然エネルギー活用の重要性が改めて認識されました。

鳥取県では「とっとりグリーンウェイブ」のひとつとして、再生可能エネルギーによる電力自給率の向上に取り組んでいます。賀祥発電所は最大出力260kw、事業費3億2千万円、東日本大震災後の平成25年9月、県営9番目の水力発電所として運転が始まりました。

調査メモ

賀祥ダムは平成元年3月に完成している。当初は治水ダムとして計画されていたが、昭和56年に米子市などの要請により多目的ダムに変更されている。その影響なのか将来、水力発電が計画された時を想定し、取水用の設備がつくられていた。

賀祥発電所は恵まれた環境の中で計画され、今日も強力な電気エネルギーを生み出している。

協力 鳥取県企業局西部事務所



小水力発電機



あとがき

広報の先進地へ行政視察したあとで広報常任委員会で検討会を開き、より見ていただける議会だよりを作っていくことを決めました。そのために毎号試行錯誤をしながら作成するためにこれから少しずつ内容が変わっていくと思います。

今回は「一般質問」のページを変えました。より見やすく、読みやすい議会だよりを作成するために委員会を中心に沢山のご意見を伺いながら作成してまいります。

紙面のみならず、ユーチューブやSNSなどの活用も視野に入れ多くの町民の皆様には議会活動などをお知らせできるようにしていきます。

(埴田)

広報常任委員会

委員長
副委員長
委員

埴田 光雄
加藤 学
景山 浩
板井 隆
白川 立真
長束 博信
井原 啓明
秋田佐紀子